

あなたのお店に宅配事業を 持ちませんか？

～新たな売り上げ向上の施策～



背景

● 宅配食品業界のこれから

いま、30代~40代の平均昼食予算は500円を下回っています。

外食産業の市場規模が、ピークの90年代よりも20%も縮小しているからです。

1990年代に76,000円平均だったサラリーマンのお小遣いは40,000円を下回り、1回あたりの昼食代予算も01年の710円をピークに減少しているのです。

そんな中、**宅配食品業界は伸びている**のです。

12年に1兆8,097億円だった市場規模は、16年には2兆782億円と、

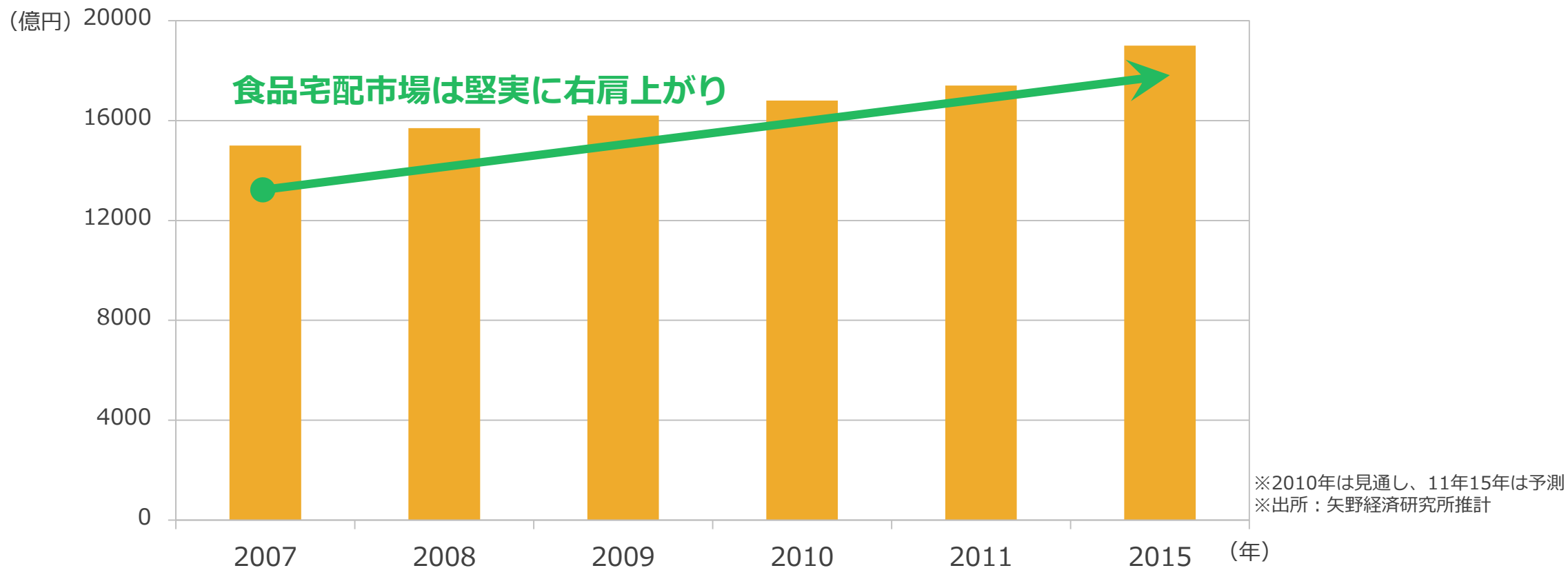
4年間で14%以上も拡大しました。

今後もその傾向は揺るがないと思われます。



市場規模

● 食品宅配の総市場規模（売上高）の推移



中食ニーズの増加によって
飲食店は新しい形に進化しなければいけない!!

ビジネスモデル

- これからご紹介するビジネスは飲食店とは真逆なビジネスモデルになります。



飲食店

- 実店舗が必要
- 初期投資の莫大な資金と長期償却
- 新たな人材雇用
- 食材仕入れ
- 天候に左右される売上げ
- 待つしかない 守りの経営
- 立地・季節に左右される売上げ



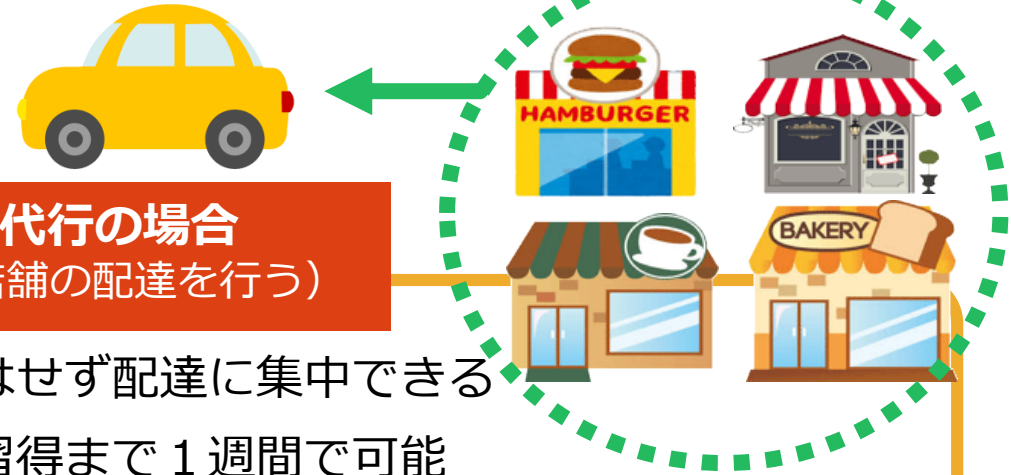
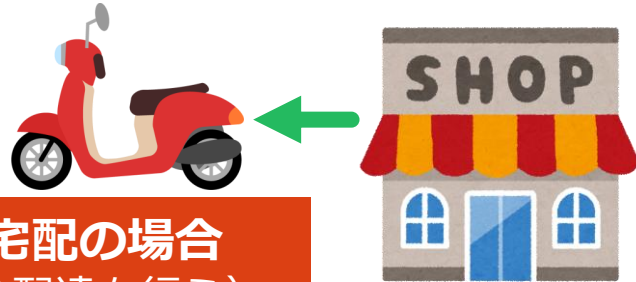
宅配代行

- 店舗不要
- 少額な初期投資と早期償却
- 既存スタッフ1名から運営可能
- 食材仕入れ不要
- 天候に左右されない安定売上げ
- 自由度の高い 攻めの経営が可能
- 立地・季節に左右されない安定した売上げ



複数宅配代行のメリット

- 複数店舗の宅配を担うことでコストパフォーマンスの向上が見込めます。



1店舗のみ宅配の場合 (自店舗のみの配達を行う)

- 調理・配達員の兼任
- 技術習得まで長期
- 待機人件費の高騰
- 兼任するスタッフの労力
- 配達車両のイニシャルコストが高い
- 配達車両のランニングコストが高い



1店舗に掛るコストが重くなる

宅配代行の場合 (加盟数店舗の配達を行う)

- 調理はせず配達に集中できる
- 技術習得まで1週間で可能
- 待機人件費がかからない
- スタッフは配達に集中できる
- 配達車両のイニシャルコストは薄まる
- 配達車両のランニングコストは薄まる




数店舗にてシェアすることによって
ALLWINの関係が成り立つ

配達システム導入のメリット

- 当社の配達システムを導入することで、売上UP・待機人件費の削減が可能です。

当社

 HM2 PROJECT

- ・ 開業ノウハウ
- ・ パッケージライセンス契約
- ・ 食材仕入れサポート
- ・ 営業開拓サポート
- ・ レシピ&盛り付けノウハウ
- ・ 疑問点等なんでも相談

飲食店

- ・ 注文 配達
- ・ お店の広報活動



集中して
ください!

⇒ 昼食に特化したルート配送により、短時間で効率よく売上げを伸ばします。
その後は、営業中の空いた時間で各プラットフォームから入る注文をデリバリーすることによって、
更なる安定した売上げを見込めます。

※プラットフォームへの登録申請は全て当社が行いますので、加盟者様は商品画像・店舗ロゴデータをご用意いただくだけです。